

Title	北村卓先生 略歴・研究業績一覧
Author(s)	
Citation	Gallia. 58 P.3-P.16
Issue Date	2019-03-03
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/72866
DOI	
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

北村卓先生 略歴



- 1954年3月29日 兵庫県多紀郡篠山町（現（丹波）篠山市）に生まれる
- 1960年3月 宝塚厚生幼稚園卒業
- 1966年3月 神戸市立住吉小学校卒業
- 1966年4月 神戸市立住吉中学校入学
- 1966年9月 岡山市立福浜中学校に転校
- 1967年7月 富山市立岩瀬中学校に転校
- 1969年3月 同卒業
- 1969年4月 富山市立富山高等学校入学
- 1972年3月 同卒業
- 1972年4月 大阪大学文学部入学
- 1976年3月 同仏文学専攻卒業
- 1976年4月 大阪大学大学院文学研究科仏文学専攻博士前期課程入学
- 1980年3月 同修了
- 1980年4月 大阪大学大学院文学研究科仏文学専攻博士後期課程入学
- 1983年3月 同単位修得退学
- 1983年4月 大阪大学文学部仏文学専攻助手
- 1986年4月 大阪大学言語文化部フランス語教育講座講師
- 1988年12月 同助教授
- 1989年4月 大阪大学国際交流会館主事（兼任）（2001年3月迄）
- 1995年4月 大阪大学大学院言語文化研究科国際関係論講座助教授に配置換
- 2001年4月 大阪大学言語文化部フランス語教育講座教授
- 2005年4月 大阪大学大学院言語文化研究科現代超域文化論講座教授に配置換

2008年4月 大阪大学大学院文学研究科文化表現論専攻国文学東洋文学
講座教授(兼任)
2019年3月 定年により退職

北村卓先生 研究業績等一覧

著書

(単著) (科学研究費補助金 研究成果報告書)

- 『日本におけるフランス近代詩の受容研究と翻訳文献のデータベース作成』,
平成16～18年度科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究成果報告書(課題番
号16520208), 100P. 2007年3月.

(共著)

- 『言語文化論』, 藤本和貴夫・木村健治編, 大阪大学出版会:「ロマン語圏
言語文化論——ボードレールにおける“群衆”の問題系/主題系」, pp.237-250.
1997年11月.
- 『新・フランス語文法』, 春木仁孝 他編, 朝日出版社, 107P. 2003年4月.
- 『小説のナラトロジー——主題と変奏』, 北岡誠司・三野博司編, 世界思想社:
「テキストとパラテキスト——永井荷風『珊瑚集』」, pp.83-105. 2003年1月.
- 『エクリチュールの冒険——新編・フランス文学史』, 柏木隆雄 他編, 大阪大
学出版会:「戦後批評の展開」, 「日本文学とフランス文学」 pp.249-256,
pp.259-265. 2003年12月.
- 『シュンボシオン』, 高岡幸一教授退職記念刊行会編, 朝日出版社:「『モスラ』
における楽園幻想の系譜——ボードレール・ゴーギャン・福永武彦」, pp.135-
144. 2006年3月.
- 『日仏交感の近代』, 宇佐美斉編, 京都大学出版会:「岩野泡鳴とフランス象徴
詩」, pp.102-119. 2006年5月.
- 『テキストの生理学』, 柏木隆雄教授退職記念論文集刊行会編, 朝日出版社:
「芥川龍之介におけるボードレール受容の展開」, pp.385-396. 2008年2月.
- 『共同研究 ボルノグラフィー』, 京都大学人文科学研究所共同研究班 大浦
康介編, 平凡社:「荷風と「検閲」——老戯作者のストラテジー」, pp.145-
167. 2011年4月.
- 『新・フランス文法』改訂版, 春木仁孝 他編, 朝日出版社, 100P.
2013年1月.
- Representations of Japanese contemporary popular culture in Europe, 'Takarazuka's performances in European countries after World War II'*, pp.11-19,
sponsored by Japan Foundation, Vytautas Magnus University, Kaunas
(Lithuania), 2013年4月.

12. 『フランスと日本——遠くて近い二つの国』, CAF10周年記念論集編集委員会編, 早美出版社:「宝塚歌劇におけるフランス的なものをめぐって」, pp.159-172. 2015年3月
13. 『新・フランス語文法』三訂版, 春木仁孝 他編, 朝日出版社, 103P. 2017年1月.
14. 『舞台芸術を学ぶ』, 澤田肇編, 上智大学出版:「メディア装置としての宝塚歌劇」, pp.116-143. 2018年3月.
15. 『越境する文化・コンテンツ・想像力』, 高馬京子・松本健太郎編, ナカニシヤ出版:「文化外交としての宝塚歌劇——海外公演をめぐって」, pp.123-134. 2018年10月.

(編著)

16. 『フランスを読み解く鍵』(第1巻), アシエット・ジャポン/長崎出版, 78P. 2012年3月.
17. 『フランスを読み解く鍵』(第2巻), アシエット・ジャポン/長崎出版, 83P. 2013年5月.
18. 『フランスを読み解く鍵』(第1巻 改訂版), アシエット・ジャポン/フウヴェール出版, 78P. 2015年4月.
19. 『フランスを読み解く鍵』(第2巻 改訂版), アシエット・ジャポン/フウヴェール出版, 83P. 2017年10月.

(共編著)

20. 『レクチュールの冒険——新編・フランス文学選』, 朝日出版社, 56P. 2005年4月.
21. 『フランス文学小事典』, 朝日出版社, 384P. 2007年3月.
22. *Contemporary Japan from European Perspective*, 'Remarks on the Creativity of Japanese Reception of Western Culture : From Literature to Popular Art', pp.73-86, Vytautas Magnus University, Kaunas (Lithuania), 196P. 2009年4月.
23. *Japan as images : Crossing Viewpoints of Europe and Japan*, 'Takarazuka Revue in Lithuania', pp.73-78, Vytautas Magnus University, Kaunas (Lithuania), 211P. 2010年3月.
24. *Japan as Represented in the European Media: Its Analytical Methodologies and Theories — In Comparison with Korean Cases*, 'Akira Kurosawa Centenary: Kurosawa's Film and Occidental Literature', pp.185-190, sponsored by Japan Foundation, Vytautas Magnus University, Kaunas (Lithuania), 237P. 2011年3月.
25. *Reception of Japanese and Korean Popular Culture in Europe*, 'Takarazuka's overseas performances in Europe and Asia', pp.37-50, sponsored by Suntory Foundation, Vytautas Magnus University, Kaunas (Lithuania), 174P.

- 2011年7月.
26. *Reception of Japanese and Korean Popular Culture in Europe 2*, sponsored by Suntory Foundation, Vytautas Magnus University, Kaunas (Lithuania), 151P.
2012年7月.
27. *Japan and Europe in Global Communication* (sponsored by Japan Foundation, Mykolas Romeris University, Vilnius (Lithuania), 297P. 2014年3月.
28. 『実用フランス語技能検定試験 2016年度版 4級 仏検公式ガイドブック 傾向と対策+実施問題』, フランス語教育振興協会編:「第2部 2015年度 問題と解説・解答」, pp.119-196. 2016年4月.
29. 『フランスを読み解く鍵』(第3巻), アシェット・ジャポン/フウヴェール出版, 89P. 2017年4月.
30. 『実用フランス語技能検定試験 2017年度版 5級 仏検公式ガイドブック 傾向と対策+実施問題』, フランス語教育振興協会編:「第1部 5級の傾向と対策」, pp.11-110. 2017年4月.
31. 『実用フランス語技能検定試験 2018年度版 5級 仏検公式ガイドブック 傾向と対策+実施問題』, フランス語教育振興協会編:「第1部 5級の傾向と対策」, pp.11-107. 2018年3月.

論 文 (すべて単著)

1. 「ボードレールにおける《海》の変貌——『悪の華』から『パリの憂愁へ』」, 大阪大学フランス語フランス文学会『GALLIA』第20号, pp.22-34.
1981年3月.
2. 「ボードレールの散文詩『夕べの薄明』に関する考察——「ラ・プレス」紙の「校正刷」をめぐる」, 大阪大学文学部『待兼山論叢』文学篇, 第16号, pp.39-56. 1982年12月.
3. 「ボードレールの散文詩『孤独』に関する考察——「ラ・プレス」紙の「校正刷」をめぐる」, 大阪大学フランス語フランス文学会『GALLIA』第21-22号, pp.119-128. 1983年3月.
4. 「ボードレールにおける散文詩制作の過程——1855～1862」, 大阪大学フランス語フランス文学会『GALLIA』第25号, pp.31-41. 1986年3月.
5. 「散文詩『旅への誘い』の位置」, 大阪大学言語文化部『言語文化研究』第15号, pp.73-90. 1989年3月.
6. 「谷崎潤一郎とボードレール——谷崎訳「ボードレール散文詩集」をめぐる」, 大阪大学言語文化部『言語文化研究』第18号, pp.259-278. 1992年2月.
7. 「群衆と異邦人——ボードレール『異邦人』をめぐる」, 大阪大学フランス語フランス文学会『GALLIA』第31号, pp.174-182. 1992年3月.
8. 「ボードレールにおける「老い」の主題」, 大阪大学言語文化部『言語文化研究』第19号, pp.147-162. 1993年2月.
9. 「ルナールの文学的出発とボードレール」, 『ジュール・ルナール全集』(第2

- 卷)「月報」, 臨川書店, pp.6-8. 1995年1月.
10. 「ボードレールにおける散文詩の発端——「狂気」をめぐる一考察」, 『言語と文化の諸相』 奥田博之教授退官記念論文集刊行会, 英宝社, pp.163-173.
1996年4月.
11. 「明治・大正期におけるボードレール受容の展開——耽美派を軸として」, 『日本をめぐる国際関係と言語文化の史的研究』, 平成8～10年度科学研究費補助金 基盤研究 (B) (2) 研究成果報告書 (課題番号 08451110), pp.83-95.
1999年3月.
12. 'Tanizaki Jun.ichiro et Baudelaire : essai sur la traduction par Tanizaki de huit poèmes en prose de Baudelaire', (traduit en français par Yves-Marie Allioux), *DARUMA—Revue internationale des études japonaises*, No.5, Éditions Philippe Picquier, pp.131-164.
1999年6月.
13. 「荷風『珊瑚集』初版本の構造——パラテキストの観点から」, 大阪大学言語文化部・言語文化研究科『言語文化研究』第27号, pp.285-301. 2001年3月.
14. 「バルト／ボードレール——バルトによるボードレールの引用をめぐる」, 大阪大学フランス語フランス文学会『GALLIA』第40号, pp.123-130.
2001年3月.
15. 「破壊と創造のディアレクティック——映画『ベティー・ブルー』読解」, 大阪大学言語文化部・大阪大学言語文化研究科「言語文化共同研究プロジェクト2000」, 『映像と文化』, pp.19-32. 2001年3月.
16. 「CALLシステムの可能性——フランス語教育の現場から」, 大阪大学サイバーメディアセンター「サイバーメディア・フォーラム」No.2, pp.50-51.
2001年12月.
17. 「『ファチーノ・カーネ』とボードレールにおける散文詩制作の理念」, 柏木隆雄編『バルザックと周辺領域における文化史的背景の研究』, 平成12～13年度科学研究費補助金 基盤研究 (B) (1) 研究成果報告書 (課題番号 1241012), pp.102-107. 2002年3月.
18. 「物語消費の時代における「詩的なもの」のありかをめぐって」, 大阪大学言語文化部・大阪大学言語文化研究科「言語文化共同研究プロジェクト2001」, 『現代社会における消費文化の構造と生成』(研究代表者 北村 卓), pp.1-9. 2002年3月.
19. 「CALLシステムとフランス語教育——新たな教授法の開拓に向けて」, 大阪大学言語文化部・大阪大学言語文化研究科「言語文化共同研究プロジェクト2001」, 『異言語・異文化教育におけるマルチメディア教育の可能性』, pp.3-7. 2002年3月.
20. 「物語の創造／消費と「検閲」——永井荷風をめぐる」, 大阪大学言語文化部・大阪大学言語文化研究科「言語文化共同研究プロジェクト2002」, 『現代社会における消費文化の構造と生成 (2)』(研究代表者 北村 卓), pp.31-40. 2003年3月.

21. 「『物語消費論』の構築に向けて」, 大阪大学言語文化部・大阪大学言語文化研究科「言語文化共同研究プロジェクト2003」, 『表象と文化Ⅰ』, pp.1-5.
2004年5月.
22. 「ボードレール／福永武彦／『モスラ』——楽園幻想の変容」, 大阪大学言語文化研究科「言語文化共同研究プロジェクト2004」, 『表象と文化Ⅱ』, pp.1-9.
2005年5月.
23. 「宝塚歌劇におけるフランス・イメージの生成と変容——「ベルばら」への道程」, 大阪大学言語文化研究科「言語文化共同研究プロジェクト2005」, 『表象と文化Ⅲ』, pp.1-10.
2006年5月.
24. 「映画『モスラ』における「物語」の変容と消費——ボードレール・ゴーギャン・福永／トポスとしての「島」」, 北山研二編『なぜ人々は物語なしには生きていけないのか——多メディアの中の物語の発生・展開・終焉』, 平成16～18年度科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究成果報告書(課題番号16602015), pp.111-121.
2007年3月.
25. 「『青い山脈』の変容——小説／映画・リメイク」, 大阪大学言語文化研究科「言語文化共同研究プロジェクト2006」, 『表象と文化Ⅳ』(研究代表者 北村卓), pp.35-44.
2007年5月.
26. 「日本におけるボードレール研究／受容と阿部良雄」, 『水声通信』, 水声社, pp.137-139.
2007年6月.
27. 「明治・大正期におけるフランス近代詩受容年表——ボードレールを中心に」, 大阪大学言語文化研究科「言語文化共同プロジェクト2007」, 『表象と文化Ⅴ』(研究代表者 北村卓), pp.73-80.
2008年5月.
28. 「芥川龍之介と村上春樹——『芥川龍之介短編集』の英語版と日本語版をめぐって」, 大阪大学言語文化研究科「言語文化共同研究プロジェクト2008」, 『表象と文化Ⅵ』(研究代表者 北村卓), pp.73-82.
2009年5月.
29. 「リトアニアにおける宝塚歌劇——「第3回ヨーロッパ公演」(1975)をめぐって」, 大阪大学言語文化研究科「言語文化共同研究プロジェクト2009」, 『表象と文化Ⅶ』(研究代表者 北村卓), pp.23-32.
2010年5月.
30. 「宝塚歌劇におけるフランスらしさ／日本らしさ」, 北山研二編『多メディアにおける「らしさ」の変容——表象文化にとって「自然さ」とは何か』, 平成20～22年度科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究成果報告書(課題番号20520131), pp.134-142.
2011年3月.
31. 「宝塚歌劇の海外公演をめぐって——宝塚歌劇海外公演年表(1938-2005)」, 大阪大学言語文化研究科「言語文化共同研究プロジェクト2010」, 『表象と文化Ⅷ』(研究代表者 北村卓), pp.21-34.
2011年5月.
32. 'Yoshio Abé et la fortune de Baudelaire au Japon', *L'Année Baudelaire*, No.13-14, Honoré Champion, Paris, pp.87-91.
2011年12月.
33. 「宝塚歌劇誕生の背景——明治末から大正初めの舞台状況をめぐって」, 大阪大学言語文化研究科「言語文化共同研究プロジェクト2011」, 『表象と文化Ⅸ』

- (研究代表者 北村 卓), pp.25-34. 2012年5月.
34. 「戦後における宝塚歌劇ヨーロッパ公演の背景」, 大阪大学言語文化研究科「言語文化共同研究プロジェクト2012」, 『表象と文化X』(研究代表者 北村 卓), pp.35-42. 2013年5月.
35. 「宝塚歌劇におけるフランスのイメージ——『ベルサイユのばら』の成立をめぐる」, お茶の水女子大学『比較日本学教育研究センター研究年報第10号』, pp.47-56. 2014年3月.
36. 「La réception créative de Baudelaire chez Kafû, Tanizaki et Akutagawa」, 大阪大学言語文化研究科「言語文化共同研究プロジェクト2013」, 『表象と文化XI』(研究代表者 北村 卓), pp.25-32. 2014年5月.
37. 「日本におけるボードレール受容のパスペクティヴ」, 大阪大学言語文化研究科「言語文化共同研究プロジェクト2014」, 『表象と文化XII』(研究代表者 北村 卓), pp.55-64. 2015年5月.
38. 「グローバル現象としてのボードレール——文学からマンガまで」, 成城大学グローバル研究センター、北山研二編『文化表象のグローバル研究』, pp.139-150. 2016年3月.
39. 「ボードレール・ハーン・谷崎——理想の女性をめぐる」, 富山大学ヘルン(小泉八雲)研究会, 『ヘルン研究』創刊号, pp.130-135. 2016年3月.
40. 「ラフカディオ・ハーンとボードレール」, 大阪大学言語文化研究科「言語文化共同研究プロジェクト2015」, 『表象と文化XIII』(研究代表者 北村 卓), pp.33-42. 2016年5月.
41. 'Perspective on Baudelaire's Reception in Japan from the Meiji Era to the Present', *AmeriQuests* Vol.13, No.1, pp.28-33. University of Vanderbilt, USA. <http://ameriquests.org/index.php/ameriquests/issue/view/206/showToc> 2017年3月.
42. 「宝塚歌劇とテロリズム——近年の演目をめぐる」, 大阪大学言語文化研究科「言語文化共同プロジェクト2016」, 『表象と文化XIV』(研究代表者 北村 卓), pp.43-50. 2017年5月.
43. 「ボードレールと日本の文学／文化」, 『びーぐる 詩の海へ』36号, 濤標, pp.30-34. 2017年7月.
44. 'Baudelaire dans le monde littéraire japonais', *L'Année Baudelaire*, No.21, Honoré Champion, Paris, pp.199-206. 2017年12月.
45. 「谷崎潤一郎のボードレール受容に関する一考察——谷崎訳「Le Fou et la Vénus」をめぐる」, 大阪大学言語文化研究科「言語文化共同プロジェクト2017」, 『表象と文化XV』(研究代表者 北村 卓), pp.43-54. 2018年5月.

書 評

1. 「宇佐美斉編『フランス・ロマン主義と現代』(筑摩書房, 1991)」, 日本比較文学会関西支部『ニューズレター』vol. IV, No.1. 1991年4月.

2. 「阿部良雄著『シャルル・ボードレール【現代性の成立】』（河出書房新社、1995）」, 日本比較文学会『比較文学』第39巻, pp.96-99. 1997年3月.
3. 「死と生——現代詩の原点に探る」, 大阪大学生活協同組合『読書探検』22号, pp.5-6. 1997年12月
4. 「今橋映子著『パリ・貧困と街路の詩学——一九三〇年代外国人芸術家たち』（都市出版、1998）」, 日本比較文学会『比較文学』第42巻, pp.106-110. 2000年3月.
5. 「詩と音楽の幸福な融合——京都フランス歌曲協会・山田兼士 編『対訳 フランス歌曲詩集』（彼方社、2002）」, 大阪文学学校『樹林』2002年冬季号, pp.95-96. 2002年11月.
6. 「川本皓嗣・松村昌家編『阪神文学論』（思文閣出版、2008）」, 日本比較文学会『比較文学』第51巻, pp.167-168. 2009年3月.
7. 「西岡亜紀著『福永武彦論——「純粹記憶」の生成とボードレール』（東信堂、2009）」, 日本比較文学会『比較文学』第52巻, pp.204-207. 2010年3月.
8. 「南明日香著『荷風と明治の都市景観』（三省堂、2010）」, 日本比較文学会『比較文学』第53巻, pp.146-149. 2011年3月.
9. 「絡まり合い、増殖するテキスト——レーモン・クノー著／松島征 他訳『文体練習』（水声社、2012）」, 『ふらんす』（白水社）2月号, p.75. 2013年2月.
10. 「近藤圭一・岩津航・西岡亜紀・山田兼士編『福永武彦を語る 2009-2012』（澁標、2012）」『びーぐる』（澁標）4月号 2013年4月.

翻 訳

1. ジュール・ルナール著「薄ら笑い」, 『ジュール・ルナール全集』（第2巻）, 臨川書店, pp.1-85. 1995年1月.
2. ロベルト・ザッペーリ著『妊娠した男』（共訳）, 青山社, （第1部1章・4章, 第2部13章～15章担当） 1995年5月.
3. ジュール・ルナール著「愛人」, 『ジュール・ルナール全集』（第6巻）, 臨川書店, pp.1-120. 1995年9月.
4. ジュール・ルナール著「日記Ⅳ（1903-1905）」（1905年担当）, 『ジュール・ルナール全集』（第14巻）, 臨川書店, pp.187-289./308-316. 1997年11月.

雑誌掲載記事（フランス語教育関連）（32点）

- | | |
|---------------------------------|----------|
| 1. 「仏検対策 [2・準1・1級]」白水社『ふらんす』5月号 | 1997年5月. |
| 「仏検対策 [2・準1・1級]」白水社『ふらんす』5月号 | 1998年5月. |
| 「仏検対策 [2・準1・1級]」白水社『ふらんす』5月号 | 1999年5月. |
| 「仏検対策 [2・準1・1級]」白水社『ふらんす』5月号 | 2000年5月. |
| 「仏検対策 [2・準1・1級]」白水社『ふらんす』5月号 | 2001年5月. |
| 「仏検対策 [2・準1・1級]」白水社『ふらんす』9月号 | 2002年9月. |
| 「仏検対策 [2・準1・1級]」白水社『ふらんす』9月号 | 2003年9月. |

- 「仏検対策 [2・準1・1級]」白水社『ふらんす』9月号 2004年9月.
2. 「仏検3級ここがポイント!」白水社『ふらんす』(毎月連載)
2008年4月～8月.
3. 「仏検準2級ここがポイント!」白水社『ふらんす』(毎月連載)
2008年9月～2009年3月.
4. 「仏検2級ここがポイント!」白水社『ふらんす』(毎月連載)
2009年4月～8月.
5. 「仏検準1級ここがポイント!」白水社『ふらんす』(毎月連載)
2009年9月～2010年3月.

口頭発表・講演・シンポジウム等

1. 「ボードレールにおける《海》のテーマ」, 大阪大学フランス語フランス文学会研究会, 大阪大学文学部 1980年12月.
2. 「ボードレールの散文詩《Le Crépuscule du soir》に関する考察——1862年のテキストをめぐる」, 日本フランス語フランス文学会全国秋季大会, 岡山大学 1982年10月.
3. 「ボードレールにおける散文詩制作の過程——1855～1862」, 大阪大学フランス語フランス文学会研究会, 大阪大学文学部 1985年12月.
4. 「Fabrication de matériel vidéo」(岩根久氏と共同研究), フランス語教育研究会, 関西セミナーハウス 1987年3月.
5. 「中等教育における英語カリキュラムの変更が大学の外国語教育に及ぼす影響」, 日本フランス語フランス文学会春季大会シンポジウム, 学習院大学 1987年6月.
6. 「詩人の学歴——19世紀フランスの教育状況をめぐって」, 第35回大阪大学言語文化研究会, 大阪大学言語文化部 1987年12月.
7. 「Fabrication de matériel vidéo 2」(岩根久氏と共同研究), フランス語教育研究会, 関西セミナーハウス 1988年3月.
8. 「散文詩『旅への誘い』の位置」, フランス・ロマン主義研究会, 大阪大学言語文化部 1988年9月.
9. 「谷崎潤一郎とボードレール」, 日本比較文学会西日本大会シンポジウム「谷崎潤一郎と西洋」, 甲南女子大学 1990年6月.
10. 「ジュネットのジャンル論」, 大阪大学言語文化研究会, 大阪大学言語文化部 1991年12月.
11. 「日本に関するテレビニュースの活用」, 関西フランス語教育研究会, 舞子ヴィラ 1993年3月.
12. 「若者に関するテレビニュースの活用」, 関西フランス語教育研究会, 舞子ヴィラ 1994年3月.
13. 「フランス語教育の5W1H」, フランス語教育を考えるつどい, 大阪国際交流センター 1996年3月.

14. 「荷風『珊瑚集』初版本のテキスト群とその構造——パラテキストの観点から」, 第12回大阪大学言語文化学会大会, 大阪大学言語文化研究科
1997年6月.
15. 「荷風『珊瑚集』におけるボードレールの位置」, 第1回ボードレール研究会,
大阪市立大学文化交流センター 1997年7月.
16. 「ボードレールにおける都市と群衆の主題」, 日仏美術学会例会, 京都造形芸術大学
1998年2月.
17. 「ボードレールと批評」, 大阪大学フランス語フランス文学会シンポジウム「批評と創造のはざままで」, 大阪大学文学部 1998年3月.
18. 「日本におけるボードレール——ボードレールと耽美派の系譜」, 大阪大学・コペンハーゲン大学学術交流プログラム記念シンポジウム, 大阪大学言語文化研究科
1998年10月.
19. 「明治・大正期における日本の文壇とボードレール——自然主義／耽美派の構図をめぐる」, 第5回ボードレール研究会, 関西学院大学 1999年11月.
20. 「バルトとボードレール」, 第9回ボードレール研究会, 神戸大学
2001年3月.
21. 「荷風『珊瑚集』(初版本)の構造」, 共同研究「日仏文化交渉の研究」, 京都大学人文科学研究所
2002年10月.
22. 「岩野泡鳴とボードレール」, 第15回ボードレール研究会, 大阪日仏センター
2002年11月.
23. 「幕末から明治期における日仏文化交流の諸相」, 滋賀県立大学, 国際教育センターセミナー
2003年12月.
24. 「荷風『珊瑚集』(初版)をめぐる」, 中山研究会, 一橋大学 2003年7月.
25. 講演会「Louis-Jean Calvet, *R.Barthes, les Mythologies et l'empire des signes*」(企画・通訳), 主催: 大阪大学文学研究科・言語文化研究科/共催: 日本フランス語フランス文学会, 大阪大学言語文化研究科
2004年1月.
26. 「«flâneur»の眼差し——ボードレール『仮面』に関する一考察」, 第18回ボードレール研究会, 大阪文学学校
2004年7月.
27. 「岩野泡鳴とフランス象徴詩——ヴェルレーヌからボードレールへ」, 共同研究「日仏文化交渉の研究」, 京都大学人文研究所
2004年11月.
28. 「映画『モスラ』における福永武彦とボードレール——楽園幻想の変容と消費をめぐる」, 日本比較文学会関西支部研究例会, 立命館大学 2005年9月.
29. ワークショップ「タカラヅカ——イメージの生成と消費」(企画・コメンテーター), 大阪大学言語文化研究科
2005年2月.
30. 「名曲シャンソンの歴史的・文化的背景」, 武庫川倶楽部, 宝塚ホテル
2005年4月.
31. シンポジウム「大学一年生のフランス語の授業を考える: いわゆる「講読」の授業で何を教えるか」, 会話教育研究会, 京都大学
2005年10月.
32. 「映画『モスラ』における楽園幻想の変容と消費——ボードレール・ゴーギャン

- ン・福永武彦, 多メディアの中の物語の発生・展開・終焉 研究会, 成城大学 2005年12月.
33. 「宝塚歌劇におけるフランス・イメージの生成と消費」, 日仏文化講座 CAF, 神戸国際会館 2006年1月.
34. 「福永とボードレール——トポスとしての「島」」, 第24回ボードレール研究会, 大阪日仏センター 2006年3月.
35. 「ボードレールと日本——文化創造の文脈における」, ワークショップ「フランスポジション・ボードレール」, 日本フランス語フランス文学会秋季大会, 岡山大学 2006年10月.
36. 「大学で何が勉強できるのか? 現在の大学における研究・教育の動向」, 大阪大学「先輩と語ろう大学の今とこれから」プロジェクト, 県立富山高等学校 2006年10月.
37. シンポジウム「近代日本とフランス——文化の創造と交流」(司会・コメンテーター), 日本比較文学会関西大会, 大阪大学 2006年11月.
38. シンポジウム「阿部良雄先生とボードレール」(司会・コメンテーター), ボードレール研究会, 明治大学 2007年5月.
39. 「フランスの詩人ボードレールと日本近代文学——荷風・谷崎・芥川」, 芦屋市国際交流協会, 第38回『Carpe Diemの会』, 芦屋市国際交流協会会議室 2007年9月.
40. 「リヨン——文化と美食の都市」, 日仏文化協会『フランス文化講座』, 大阪日仏文化協会 2007年11月.
41. 「芥川龍之介とボードレール」, 第27回ボードレール研究会, 大阪日仏センター 2008年3月.
42. (Special Lecture) 'Remarks on the Creativity of Japanese Acceptance of Western Culture: from Literature to Popular Art Scenes', International Conference: *Tradition in Modernization: Contemporary Asia from European Perspective*, Vytautas Magnus University, Japanese Studies Centre, Kaunas, Lithuania. (ヴィータウタス・マグナス大学日本研究センター, リトアニア共和国カウナス市) 2008年11月.
43. 「楽園幻想の系譜をたどる——ボードレール・ゴーギャン・福永武彦」, 日仏文化講座 CAF, 神戸国際会館 2009年2月.
44. 「ラングドック——地中海に抱かれて」, 日仏文化協会フランス文化講座, 大阪日仏協会 2009年5月.
45. 「リトアニアの歴史・文化と日本」, 芦屋市国際交流協会, 芦屋市国際交流協会会議室 2009年9月.
46. 「宝塚歌劇におけるフランス・イメージの生成——『モン・パリ』から『ベルばら』まで」, 日仏会館(東京) 2010年2月.
47. 「バルザックにおけるボードレールの位置」, 第78回バルザック研究会, 放送大学大阪学習センター 2010年4月.

48. シンポジウム「黒澤明と文学」(企画・構成), 日本比較文学会関西支部大会, 京都産業大学 2010年11月
49. 「日本における外来語・外来文化の創造的受容について」, 京都府立嵯峨野高等学校 2010年11月.
50. ‘*Takarazuka’s* overseas performances in Europe and Asia’, サントリー文化財団助成研究 “Comparative Studies of Japanese and Korean Popular Culture in Europe” 研究発表会, 韓国外国語大学, ソウル. 2011年1月.
51. 「宝塚歌劇におけるフランスらしさ/日本らしさ」, 「多メディアにおける「らしさ」の変容——表象文化にとって「自然さ」とは何か」研究会, 成城大学 2011年2月.
52. ‘Baudelaire au Japon’, Colloque international «Baudelaire dans le monde : Traditions critiques et traductions», Sorbonne, Paris. (ソルボンヌ大学, パリ) 2011年12月.
53. ‘*Takarazuka theatre* as a cultural diplomacy tool : the intentions and effects of its performances in European countries’, サントリー文化財団助成研究 “Comparative Studies of Japanese and Korean Popular Culture in Europe” 研究発表会, INALCO, Paris. (フランス国立東洋言語文化研究所, パリ) 2011年12月.
54. 「『フランスを読み解く鍵』について」, 関西フランス語教育研究会, 大阪日仏センター=アリアンス・フランセーズ 2012年3月.
55. ‘*Takarazuka’s* performances in European countries after World War II’, 国際交流基金助成研究 “Representation of Japanese Contemporary Popular Culture in Europe” 研究発表会, Vytautas Magnus University, Kaunas, Lithuania. (ヴィータウタス・マグヌス大学, リトアニア共和国カウナス市) 2012年10月.
56. 「宝塚歌劇におけるフランスのイメージ——『ベルサイユのばら』の成立をめぐる」, 第15回国際日本学シンポジウム「フランスへの憧れ——生活・芸術・思想の日仏比較」, お茶の水女子大学比較日本学教育研究センター 2013年7月.
57. 「『宝塚歌劇』100年の歴史をたどる」, (招待講演) 銘傳大学, 台北. 2013年9月.
58. 「日本におけるボードレール受容のパスpekティブ」, 日本比較文学会関西支部研究例会, 関西学院大学梅田キャンパス 2015年4月.
59. 「グローバル現象としてのボードレール受容——文学からマンガまで——」, 成城大学グローバル研究センター 2015年7月.
60. ‘Perspective on Baudelaire’s Reception in Japan from the Meiji Era to the Present’, International Symposium «Cultural Modernism IV: Baudelaire in Japan», Vanderbilt University, Nashville, USA. (ヴァンダービルト大学, アメリカ合衆国ナッシュビル市) 2015年11月.
61. 「ボードレール・ハーン・谷崎——理想の女性をめぐる」, 富山大学ヘルン(小泉八雲)研究会主催、第1回国際シンポジウム「ラフカディオ・ハーン研

- 究への新たな視点], 富山大学 2016年2月.
62. 「メディア装置としての宝塚歌劇」, 上智大学連続講義「舞台技術の世界」第11回, 上智大学 2016年6月.
63. 「宝塚歌劇の海外公演をめぐる——戦前から現代まで」, 大手前学園創立70周年・大手前大学50周年事業, 大手前大学交流文化研究所 2016年6月.
64. 講演会「Dominique Chateau, *Charles Baudelaire et l'art moderne*」(企画・通訳), 科学研究費助成事業:北村卓「日本におけるボードレール受容の総合的研究」(基盤研究(C)課題番号15K02456), 共催:日本フランス語フランス文学会関西支部, 大阪大学言語文化研究科 2016年11月.
65. 'La France de la Revue Takarazuka', (招待講演) IV^e Congrès régional de la Commission Asie-Pacifique, Fédération internationale des professeurs de français, 京都大学 2017年9月.
66. 「宝塚歌劇のフランス・イメージ戦略——『モン・パリ』『ベルばら』から現代まで」, 立命館大阪プロムナードセミナー「大阪・京都文化講座」, 立命館大学梅田キャンパス 2017年10月.
67. 対談「ラファディオ・ハーンとフランス文学」(富山大学 中島淑恵教授と), 2017年度日本フランス語フランス文学会中部支部大会, 富山大学 2017年12月.
68. 「文化外交としての宝塚歌劇——海外公演をめぐる」, 明治大学連続講義「情報コミュニケーション学——トランスナショナル・コミュニケーションにおける文化の伝達」第13回, 明治大学 2017年12月.
69. 「Takarazuka et la France」, カフェ・デ・ザミ, アリانس・フランセーズ札幌 2018年12月
70. 「フランス、日本、そして北海道——日仏修好160周年にあたって」札幌日仏協会創立30周年記念シンポジウム基調講演, 北海道大学 2018年12月
71. 「宝塚歌劇のイメージ戦略——海外公演を中心に」, 明治大学連続講義「情報コミュニケーション学——「トランスナショナル・コミュニケーションにおける流行、文化現象の形成と伝達」第13回, 明治大学 2018年12月.

科学研究費の助成を受けた研究

(研究代表者)

1. 研究種目 : 基盤研究(C)
 研究期間 : 平成16年度～平成18年度
 研究課題名: 日本におけるフランス近代詩の受容研究と翻訳文献のデータベース作成
 研究経費 : 2,600千円
2. 研究種目 : 基盤研究(C)
 研究期間 : 平成26年度～平成30年度
 研究課題名: 日本におけるボードレール受容の総合的研究

研究経費 : 2,600 千円

(研究分担者)

1. 研究種目 : 基盤研究 (B) (2)
研究期間 : 平成 8 年度～平成 10 年度
研究課題名 : 日本をめぐる国際関係と言語文化交流の史的研究
研究代表者 : 藤本和貴夫
研究経費 : 6,600 千円
2. 研究種目 : 基盤研究 (B) (1)
研究期間 : 平成 12 年度～平成 13 年度
研究課題名 : バルザックと周辺領域における文化史的背景の研究
研究代表者 : 柏木隆雄
研究経費 : 13,200 千円